



平成 24 年 6 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社セイヨー  
代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一  
(コード番号2872 東証第 2 部)  
問合せ先 管理部 課長 田畑 大吾  
TEL 025-386-9988

## 当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社の株式につきましては、平成 24 年 5 月の時価総額（月間平均時価総額及び月末時価総額）が 6 億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

### 1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成 24 年 5 月の月間平均時価総額及び月末時価総額が 6 億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程では、9 ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を 3 ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3 ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が 6 億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。なお、上場株式にかかる時価総額基準につきましては、平成 21 年 1 月末より平成 24 年 12 月末までの間、時価総額基準が 10 億円未満から 6 億円未満に変更となっております。

(ご参考)

- ①平成 24 年 5 月の月間平均時価総額：580,428,810 円
  - ②平成 24 年 5 月の月末時価総額：566,026,110 円
- (5 月 31 日終値 131 円×5 月末日上場株式数 4,320,810 株)

### 2. 今後の見通しについて

当社は、業績回復に向け、製造工場の合理化や事業の集約、再編に伴う従業員の削減に着手し、固定費を中心に徹底したコスト削減を行いました。これらの施策の効果は、当事業年度より具体化され、収益性の向上を図っている次第でございます。また、平成 24 年 5 月 25 日付当社有価証券報告書に記載の 3「対処すべき課題」の具体的な取組事項であります①コスト構造の改革②製造工場の合理化③製品開発の強化④営業力の強化⑤予算管理の徹底⑥品質管理の徹底を重点的に実施し、赤字脱却に向け全社一丸となって取り組んでおります。

今後においても、あらゆる経費の見直しを徹底的に行い、利益を出せる構造にし、安定した黒字化体質を実現することにより、今後も引き続き東京証券取引所における上場を維持するよう最大限に注力してまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑並びにご心配をおかけいたしますが、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上